

## 有力FX企業16社の月間データランキング-2018年2月-

### 【調査要綱】

矢野経済研究所では、次の調査要綱にてFX(外国為替証拠金取引)店頭取引市場における有力企業16社<sup>\*1</sup>のアンケート調査を実施した。

1. 調査期間:2018年3月
2. 調査対象:FX業界大手、有力企業のうち社名又は数値の公表を前提として、協力を得られた16社を対象とした。  
一部の企業で、統計数値や社名について非公開のものもあるため、集計対象が16社にならないものもある。  
※社名及び数値を非公開とする企業は、集計の際、「その他」としてランキングから除外した。
3. 調査方法:当社専門研究員によるe-mailによるアンケート調査

### 【調査結果サマリー】

◆ 企業単体集計の2018年2月の預かり残高第1位はGMOクリック証券、第2位はDMM.com証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ<sup>\*2</sup>、第2位はGMOグループ<sup>\*2</sup>

2018年2月末の有力FX企業15社<sup>\*1</sup>の預かり残高の合計は、9,387億円であった。2月は本調査対象企業15社中12社で預かり残高が増加し、前月比178億円増(1.94%増)となった。

◆ 企業単体集計の2018年2月の口座数の第1位はDMM.com証券、第2位はGMOクリック証券

◆ 企業グループを加味した集計では、第1位はSBIグループ<sup>\*2</sup>、第2位はGMOグループ<sup>\*2</sup>

2018年2月末の有力FX企業16社<sup>\*1</sup>の口座数の合計は、464万口座であった。2月は前月比3.9万口座増(0.86%増)となった。本調査対象企業16社すべてで口座数が増加した。

◆ 2018年2月の取引高の第1位はGMOクリック証券、第2位はDMM.com証券

2018年2月の月間取引高は、有力FX企業12社<sup>\*1</sup>の合計で276兆円(百万通貨は1億円として換算)であった。2月は前月比35.9兆円増(14.97%増)であったが、本調査対象企業12社中10社(その他企業3社含む)で取引高が増加した。

(\*1. 集計対象は、預かり残高15社、口座数16社、取引高12社、いずれも無回答を除く。)

(\*2. SBIグループはSBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレード3社の店頭取引の合算値。GMOグループはGMOクリック証券、FXプライム by GMOの店頭取引の合算値。)

**★ご注意:**本ランキングは、情報提供を目的としており、投資その他の行動を勧誘し、特定企業を推奨するものではありません。

### ◆ 株式会社 矢野経済研究所

所在地:東京都中野区本町2-46-2 代表取締役社長:水越 孝

設立:1958年3月 年間レポート発行:約250タイトル URL: <http://www.yano.co.jp/>

本件に関するお問合せ先(当社HPからも承っております <http://www.yano.co.jp/>)

㈱矢野経済研究所 マーケティング本部 広報チーム TEL:03-5371-6912 E-mail:press@yano.co.jp

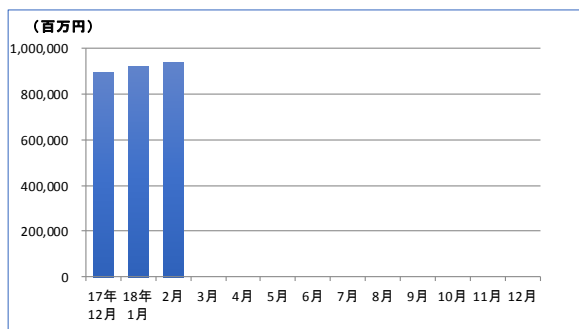
本資料における著作権やその他本資料にかかる一切の権利は、株式会社矢野経済研究所に帰属します。  
本資料内容を転載引用等されるにあたっては、上記広報チーム迄お問合せ下さい。

## プレスリリース

## 【 預かり残高 】

- 企業単体における預かり残高ランキングの第1位はGMOクリック証券で1,495億円、第2位のDMM.com証券は1,218億円。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(2,161億円)、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(1,672億円)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はヒロセ通商(4.13%増)。次いでSBIグループ(2.96%増)であった。

図表 1. 預かり残高推移と2月月間ランキング



(単位：百万円、%)						
預かり残高 順位	社名	2018年1月	2018年2月	増減額	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	209,924	216,137	6,213	2.96	2
2	GMOクリック証券	145,903	149,578	3,675	2.52	3
3	DMM.com証券	119,972	121,809	1,837	1.53	7
4	外為どとコム	118,645	120,261	1,616	1.36	8
5	ワイジェイFX	100,992	102,960	1,968	1.95	5
6	セントラル短資FX	62,680	63,690	1,010	1.61	6
7	マネーパートナーズ	62,789	62,309	▲480	▲0.76	
8	ヒロセ通商	46,999	48,941	1,942	4.13	1
9	FXプライムbyGMO	17,450	17,654	204	1.17	9
10	トレイダーズ証券	12,220	12,528	308	2.52	3
11	上田ハロー	11,630	11,727	97	0.83	10
	その他(2社)	11,667	11,171	▲496	▲4.25	
	合計	920,871	938,765	17,894	1.94	

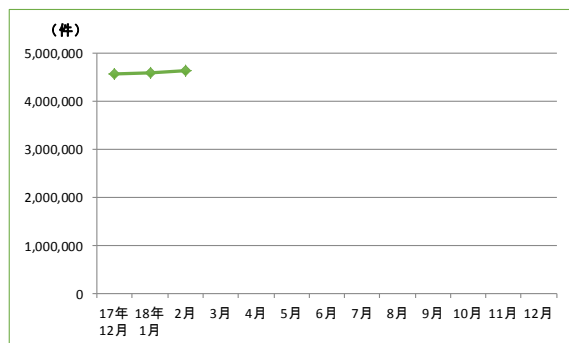
注1. 集計対象は無回答1社を除く15社の合計値。その他には2社含まれる。

矢野経済研究所調べ

## 【 口座数 】

- 企業単体における口座数ランキングの第1位はDMM.com証券で64.9万口座、第2位のGMOクリック証券は52.4万口座。企業グループを加味した集計では、第1位がSBIグループ(SBI証券、住信SBIネット銀行、SBI FXトレードの合算値)(105.2万口座)で、第2位はGMOグループ(GMOクリック証券、FXプライム by GMOの合算値)(70.3万口座)であった。企業グループを加味した場合、前月比で最も高い増加率はSBIグループ(1.50%増)。次いでヒロセ通商(1.12%増)であった。

図表 2. 口座数推移と2月月間ランキング



(単位：件、%)						
口座数 順位	社名	2018年1月	2018年2月	増加数	前月比	増加率 順位
1	SBIグループ	1,036,790	1,052,352	15,562	1.50	1
2	DMM.com証券	643,927	649,624	5,697	0.88	4
3	GMOクリック証券	519,696	524,455	4,759	0.92	3
4	外為どとコム	450,774	453,118	2,344	0.52	7
5	ワイジェイFX	329,620	332,314	2,694	0.82	5
6	マネーパートナーズ	311,645	313,167	1,522	0.49	8
7	トレイダーズ証券	302,930	304,080	1,150	0.38	9
8	マネックス証券	244,505	245,396	891	0.36	10
9	ヒロセ通商	222,250	224,742	2,492	1.12	2
10	FXプライムbyGMO	178,069	179,005	936	0.53	6
11	セントラル短資FX	169,657	170,132	475	0.28	11
12	上田ハロー	53,002	53,008	6	0.01	12
	その他(2社)	139,334	140,402	1,068	0.77	
	合計	4,602,199	4,641,795	39,596	0.86	

注2. 集計対象は16社の合計値。その他には2社含まれる。

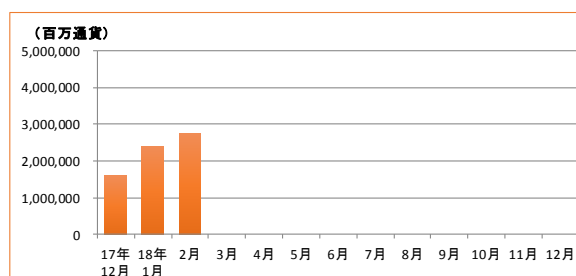
注3. ヒロセ通商の口座数には、バイナリーオプションの口座数が含まれる。

矢野経済研究所調べ

## 【 取引高 】

- 月間取引高ランキングの第1位はGMOクリック証券で86.3兆円(百万通貨を1億円として換算)、第2位はDMM.com証券で71.4兆円(同)であった。

図表 3. 月間取引高推移と2月月間ランキング



(単位：百万通貨、%)						
取引高 順位	社名	2018年1月	2018年2月	増減額	前月比	増加率 順位
1	GMOクリック証券	722,909	863,038	140,129	19.38	2
2	DMM.com証券	621,253	714,074	92,821	14.94	6
3	ヒロセ通商	265,329	306,191	40,862	15.40	4
4	ワイジェイFX	239,953	283,931	43,978	18.33	3
5	外為どとコム	251,797	255,847	4,050	1.61	7
6	マネーパートナーズ	142,982	164,784	21,802	15.25	5
7	FXプライムbyGMO	61,643	76,428	14,785	23.98	1
8	マネックス証券	34,328	32,634	▲1,694	▲4.93	
	その他(4社)	63,309	66,350	3,041	4.80	
	合計	2,403,503	2,763,277	359,774	14.97	

注4. 集計対象は無回答4社を除く12社の合計値。その他には4社含まれる。

注5. FXプライム by GMO はカバーをしている同業他社等、マネーパートナーズはCFD(差金決済取引)、ヒロセ通商はホリワトルを含む。

注6. マネックス証券は、証券単体の店頭取引の公表数値に営業日数を乗じて弊社で算出し、単位を億円で表記。

注7. 百万通貨は1億円として換算。

矢野経済研究所調べ